



事業だより



世界の仲間と共に過ごした素敵な時間！

11月26日(日)試験週間の真ただ中、いよいよこの事業のメインイベントである「ディスカッション」「フェアウェルパーティー」が国少で行われました。

その模様は、後ほどお伝えするとして、まずは、事業だよりが遅くなりすみませんでした。遅くなりましたが、11月22日から26日までの楽しく素敵な日々をこの事業だよりでお伝えします。

11月22日(水)

この日、実行委員は学校を終えて、夕方国少へ集合しウェルカムパーティーの準備を行いました。ブルネイ・ミャンマーの生徒はというと、午前は吉備中央町長と教育長への表敬訪問、午後は吉備津神社と後樂園を観光するというスケジュールでした。あいにくの雨模様でしたが、表敬訪問では積極的に質問し、観光では日本の文化を楽しんでいました。



迎えたウェルカムパーティー。テーマは「ご縁 ～きずなを深め、交流の第一歩にする～」です。始めは3ヶ国とも緊張した雰囲気でしたが、バディーの紹介から会食・歓談と進むにつれ、和やかな雰囲気に自然と包まれていきました。



なんとといっても、実行委員の企画した吹奏楽の演奏、ハンドクラップ、フルーツバスケット、〇×クイズ、これらの演出により本当に3ヶ国25人の同じ年代の仲間がぐっと近づけた時間を創り上げることができました。まさしく交流の第一歩となりました。

11月23日（木・祝）

この日は、吉備中央町の散策を行いました。テーマ『おもてなし～互いに教え、互いに学ぶ～』をもとに町内4か所の施設「道の駅かもがわ円城」「お祭り会館（総社宮）」「重森美鈴記念館（吉川公民館）」「道の駅かよう」をめぐるしました。

行動は、常にバディーと共に行いました。4つの施設をめぐる中で、同じものを一緒に食べたり、バスの中で笑ったり、歌を歌ったり、加茂大祭の祭囃子を見入ったり、お茶の体験やジャムづくりをすることを通して、昨晚のパーティーでつながった心が、より強くつながる一日になりました。

4か所をめぐることで、時間的にはあわただしい時間になると考えていましたが、そんなことを吹っ飛ばすほどの充実したとても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



11月24日（金）

この日は、加賀中学校を訪問させていただきました。試験週間ではありましたが加賀中学校の協力により、全校生徒による歓迎会を開いていただきました。さらに、数学、理科、英語、音楽、保健体育の授業にも参加させていただきました。もちろん、給食も各教室に入れていただき共に体験させていただきました。休憩時間には、控



室にたくさんの生徒が話しかけに来てくれました。

限られた時間でしたが、この一日を通して、加賀中学校の生徒の皆さんの心のあたたかさを感じるとともに、国際感覚にあふれた学校であることをブルネイ・ミャンマーの生徒は肌で感じる事ができました。

11月25日（土）

前日の夕方からこの日の夕方まで、ホームステイを行いました。町内11か所、町外1か所で受入れていただきました。

この日、ブルネイ・ミャンマーの生徒の表情がとても印象的でした。それは、24日夕方にホストファミリーが迎えに来て、一緒に帰っていく時は、不安と緊張でこわばっていた表情が、25日夕方には満面の笑みで国



少に帰ってきました。さらに、ホストファミリーが国少から帰ろうとするとハグをして別れを惜しむ姿に、見ているスタッフが胸を熱くさせられました。



このホームステイがブルネイ・ミャンマーの生徒にとって、ホストファミリーの愛情を強く感じる事ができた時間になったのだと思います。

11月26日（日）

いよいよ最後の日を迎えました。当初は、実行委員には25日から国少へ泊ってもらおうと考えていましたが、試験週間であることから何を優先すべきかを考え、泊まることをせず、当日国少へ集合してもらうことを選択しました。実際、22日に泊まった日にも勉強している実行委員の姿が見られました。

そのような中で、スタートしたこの日、午前中は「ディスカッション」を行いました。テーマは、『自国（自分の住んでいる地域）の伝統文化（主に地域の祭り）の良さ」と課題を発表し、課題解決方法を考える』です。

2グループに分かれ、各国の伝統文化の良さ」と課題を出し合いました。ブルネイは600年続くサルタンという祭りについて、ミャンマーは1年で最も重要な祭りである水かけ祭りについて、日本は加茂大祭と当番際について発表しました。（前日の夜にブルネイとミャンマーの生徒には、加茂大祭と当番際の様子をDVDでみてもらいました。）



どの発表もよく調べられており、お互いに質問なども質問を行い、理解を深めました。後半には、課題に対する取組を発表し、その取組に対してアドバイスやアイデアをお互いに加えていきました。日本へのアイデアとして、国に働き掛ける、警察に協力を依頼するなどスケールの大きなアイデアも飛び出しました。



昼食をはさみ、今後の活動をどのように行うかという学習発表会を行いました。しっかりと準備を行い、お互いに発表しました。それぞれの発表は、実現可能かどうかは別として、よく考えられており、何とか課題を克服したいという思いが詰まったものでした。

学習発表会も終わり、いよいよフィナーレ。フェアウェルパーティーの開催です。テーマは「ありがとう ～また会う日まで～」です。実行委員の保護者、ホストファミリーにも参加していただき、大変盛大なパーティーとなりました。



所長及び実行委員長、ホストファミリー代表の挨拶のあと、会食・歓談を行いました。会場は、笑い声、様々な会話で、とても温かいアットホームな雰囲気につつまれました。



続いて、ブルネイとミャンマーの出し物では、それぞれ喜びと感謝の気持ちが伝わる踊りを披露してくれました。2か国の出し物の後に実行委員が踊り「ソーラン節」と合唱「世界に一つだけの花」(手話付)を披露しました。踊りも合唱も本当に心のこもったものでした。心は通じ合えることを証明した瞬間でもありました。真心には真心で返す姿そのものでした。



エンディングでは、お互いに涙を流し合い、この時間の終わりを惜しむ姿が印象的でした。玄関でのお別れの時間も予定の時間をはるかに超えて別れを惜しんでいました。

最後に

実行委員のみなさん、素敵な時間をありがとうございました。みなさんのおかげで想像以上の事業を創り上げてもらうことができました。8月からの準備は本当に大変なものだったと思います。その分、みなさんは素敵な時間を創り上げるとともに、大きな成長を感じることができたのではないかと思います。ここから事後の活動につなげていきますが、まずは、素敵な時間を創り上げたことを自信と誇りにして、これからの生活につなげてもらえたらと思います。

(CARP)



Thank you for the best time